

ふくいのかか

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2015年3月12日 No.106

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

第26回 近畿地区生協・行政合同会議が 福井県で開催されました。

月日 2014年11月21日(金)

場所 福井県商工会議所・
コンベンションホール

テーマ 「地域・行政とのネットワーク
でくらしの安心づくり」



Kinki District co-op, administrative joint meeting in fukui

厚生労働省近畿厚生局をはじめ日本生協連、消費者支援機構関西、京都府、兵庫県、大阪府、滋賀県、奈良県、和歌山県、福井県の各行政担当、各府県生協連の役職員42名が、出席されました。

福井県生協連・野尻郁智副会長理事の司会によりすすめられ、まず兵庫県生協連(近畿地区生協府県連協議会代表)・本田英一会長理事および福井県安全環境部・櫻本宏部長の挨拶、厚生労働省近畿厚生局健康福祉部・野本宏部長より組合運営にかかわる各種規約・規則等の整備改善などについての指摘と報告、日本生協連渉外広報本部渉外部・松本圭司部長より全国の生協の取り組みについての報告がありました。

次に、特別報告として福井弁護士会の島田広弁護士から「みんなでづくり、動かす 消費者市民社会」をテーマにご講演をいただきました。

その他活動報告として、①京都府消費生活安全センターより「京都府における消費者教育の取り組み」②大学生協阪神事業連合より「大学生によるくらしのヤングクリエイターの取り組みについて」③福井県安全環境部より「おいしいふくい食べきり運動」について ④消費者支援機構関西より「集団的消費者被害救済制度の動向」がなされ、各報告への質疑応答と意見交換をしました。

冬季役職員学習会 を開催しました

月日 2014年11月28日(金)

宝永きらめき2階会議室にて、日本生協連 総合運営本部 執行役員 青竹豊本部長を講師としてお招きし、「生協におけるガバナンスの留意ポイント」をテーマにご講演をいただきました。

福井県生協連合会役員をはじめ、各会員生協職員17名の方にご出席いただきました。

ご講演では、①最近の欧州生活協同組合の危機管理とガバナンス問題 ②生協のガバナンスと内部統制 ③生協における非営利性と情報開示についてのお話をいただき、最後に質疑応答と意見交換をし、学習会を終了しました。



福井県生協連合会は、 おかげさまで40周年

福井県生協連合会の設立総会が、1975年(昭和50年)3月29日に開催されました。当時、全国的に生協運動の活躍はすさまじく、全国で多くの県生協連合会が結成されていました。福井県下においては、当時生協事業を行っていた5つの生協(県庁、学校、労済、大学、菅浜)が、「県下消費者の立場を守る舞台をより強く広くするため当面「5団体の共同体勢確立」「他団体の育成」を実現することを誓い合って」福井県生協連合会を設立しました。さらなる生協活動の前進を誓い、2015年度は創立40周年記念事業を実施してまいります。

会員生協のボランティア活動紹介

福井県生協連合会では、会員生協（組織または役職員・組合員）が行っているボランティア活動に対して助成金をお渡しし、活動を応援しています。14年度は4生協のボランティア活動を応援しました。

県庁生協



- 6月15日(日) 緑苑公園内花壇の植苗活動
- 10月19日(日) 緑苑公園の草刈り・清掃作業
- 11月16日(日) 緑苑公園内花壇の植苗とあじさいの植え替え作業



参加された会員の皆様は、汗を流しながらも花一杯の公園のため一生懸命作業しました。

菅浜生協

菅浜壮年会(田辺正樹会長)と炭焼きの会メンバー合わせて20名が合同で林道拡幅工事のため伐採した材木を炭材に使うため、炭焼小屋まで運搬しました。当日はあいにくの雨となりましたが、壮年会の熱気で雨も降るのを諦めました。ユンボやダンプカーを使い、何とか午前中で作業を終える事ができました。昔の炭作りはこれらを全て手作業で行っていたとは、本当に昔の人はきつかった。壮年会の皆さん本当にありがとうございました。



小雨の中 炭焼き材運搬作業に汗

— 6月22日(日) 壮年会 —



県民生協



「くらしの助け合いの会」は会員同士、くらしの中で困ったことがあれば、お互いに助け合って、安心できる暮らしを支援していこうという発想から生まれた会です。この会での活動は専門的な介護や看護ではなく、家事・育児援助などのお困りごとを支援しています。

助け合いの会では、「お料理教室」や「お掃除講座」など会員のスキルアップ講座を定期的に行っています。会で活動していただける活動会員を随時募集中です！地域に助け合いの輪を広げ温かな活動を、一緒に始めてみませんか？



医療生協

介護予防拠点施設「やすらぎ清間」の活動について

「やすらぎ清間」は、平成19年医療生協金津支部の清間班昼食会から始まり、その後あわら市の介護予防空間整備事業として指定を受け、組合員の農舎を改装して平成20年11月に開所しました。以降毎週木曜日に介護予防のための健康体操や昼食会、春の花見、冬の餅つき大会、幼稚園児との交流などのレクリエーションや健康チェック、グラウンドゴルフ、スポーツ吹き矢、公式輪投げ、ミニボーリングで身体を動かして笑顔いっぱい楽しく元気に過ごしています。

健康体操は専任のインストラクターの講師の振り付けで「夜桜お七」の踊りを練習して、「あわら市の健康長寿祭」や「さかい健康まつり」で披露します。運営には、医療生協金津支部の組合員がボランティアで参加し、送迎や昼食の準備などフル回転しています。利用者はあわら市全域から集まり、年間1115名(平成26年度)が参加しています。



2月15日にて『生協ボランティア月間』は終了しました。

収集されたものは、福井県ボランティアセンターを通じて、収集ボランティア団体からコレクターに売られて、換金され、福祉活動に活用されます。

ご協力ありがとうございました。

『生協ボランティア月間』は終了しましたが、年間通して収集活動は行っていますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



☆ 収集物	14年度の量
使用済み切手	3,852g
ベルマーク	1,175g
書き損じ葉書	266g
外国コイン	国:10ヶ国 コイン枚数:53枚

Report of guidance inspection

福井県の指導検査報告

2014年12月19日、福井県による「生活協同組合の業務等に関する指導検査」を受けました。公認会計士による検査も含めて特に指摘事項はなく、事業運営・組織管理と経理管理は適正であると認められました。



3.11 を忘れない

～被災地のいま～

「生きがいを失いたくない」。手しごとコミュニティのいま。

震災発生から間もなく4年、伝えたいことは何ですか？被災した方々にそう尋ねると、「震災の時はありがとう。これからも被災地を忘れないでください」との言葉が返ってきます。「忘れられると、社会から見捨てられそうで不安です」と話す方もいます。実際、徐々に震災報道は少なくなり、宮城県へのボランティアも'11年度の526,000人から'13年度56,000人と約10分の1に減少しました。被災後、生きがいやコミュニティづくりのために手作りの制作・販売を始めた「手しごとコミュニティ」の人たちはいま、そうした震災の風化や被災地の環境変化に向き合っています。



▲「ぜひ手作り商品カタログを利用してください」と広部知森さん(中央)。応援のしっぽ事務局長の阿部麻由子さん(右)とスタッフの佐竹裕子さん。



▲「応援のしっぽ」はみやぎ生協とともに「手作り商品カタログ」等で手作りの販売支援を行っています。カタログの内容やご注文方法など詳しくはこちらをご覧ください。▶▶▶

手しごとコミュニティの運営を支援するNPO法人「応援のしっぽ」の広部知森さん(代表理事)は、「商品販売量は最盛期の3分の2くらいまで減少している」と指摘します。

手しごとコミュニティでは黙々と手を動かすことで心を癒し、作った商品が喜ばれるという体験を通じて笑顔と誇りを取り戻してきました。「人間関係に苦勞しながらも結びつきを強めた団体がありますし、解散の危機を乗り越えたところもあります」。

手しごと場の消滅は、そうした強い結びつきを持つ人たちの生きがいを奪うことになります。そのため「仮設住宅から転居しても活動を続けたい」と声があがるようになりました。

商品の開発に取り組む団体や高齢者の笑顔づくりを目的とする団体、手作りが趣味の団体と、形はさまざまです。「いまはそれぞれの方向性を自分たちで決めていく時期。復興を支えるには小さくても多様なコミュニティがたくさんあった方がよい」と広部さんは言います。

心の復興はこれからと言われる被災地で、生きがいを求め、手しごとの小さなコミュニティを守ろうとする人たちが、この時期だからこそ、手しごと品の購入を通して、「忘れていない」ことを伝え続けていくことが大切なのかも知れません。

<http://www.miyagi.coop/support/shien/handmade/>

会員生協の活動報告 & 予定案内



福井県医療生協

原発は本当に必要なの？

井戸弁護士を講師に原発学習会を開催

昨年12月JA福井市農協会館にて福井県医療生協主催の原発学習会が開催されました。

講師は、志賀原発二号機の差し止めを命じた裁判官で現在弁護士として活躍されている井戸謙一氏。福井県全域から122名が参加しました。

学習会では、原発に対する政府や電力会社の安全性の問題、福島の現状、大飯原発の福井地裁での判決の意義などについてお話していただきました。

特にアメリカやヨーロッパとの原発の取り扱いに対する危機対策の違い、基準値振動の問題など、原発を稼働するうえでの必要な対処がなされていないことが説明されました。



菅浜生協

10月10日(金) 菅浜小の生徒が当店を見学

生協の人気の秘密を見つけよう！

菅浜小学校の3・4年生(松本先生担任)の6人が社会科の勉強で来店してくれました。というのは生徒のアンケートで「行った事のある店」のなかで、菅浜生協がランキング3位になり、「生協の人気の秘密をみつけよう」と見学に来てくれました。生徒らは「商品が売れるためにどのような工夫をしていますか」「仕入はどこですのですか」「産地はどこですか」「なぜここに店を建てたのですか」「お客さんは何人くらい来ますか」等、次々の質問に新米店長もたじろじ。



バックヤードでの作業やショーウィンドウを裏側から見たりして興味津津でした。又、「ここは昔、海だったところを埋め立てたんですよ」との説明に「えー！ここ海だったの」とびっくり仰天。東小学校に行っても皆さんまた来てね！



福井県学校生協

秋の生協まつり

2014年11月8日(土)～9日(日)の2日間に渡り、(一財)福井県教育センター全館にて、「学生協創立55周年秋の生協祭り」を開催いたしました。天候にも恵まれ両日で約350人の組合員さん及びご家族の方にご来場していただきまして、誠にありがとうございました。さて、日頃のご利用に感謝をして、200円でおろし蕎麦(県内丸岡産蕎麦粉100%使用)を食べられる「手打ち新蕎麦コーナー」のブースには、「挽きたて・打ちたて・茹でたて」三拍子揃った蕎麦の風味を味わう組合員さんの姿で列ができ、舌鼓を打っておられました。又「新鮮野菜・果物」のブースでは、100



円でじゃがいも・玉ねぎの詰め放題を開催し、秋の生協祭りは盛況のうちに終了いたしました。

本当にありがとうございました。

福井県民生協

福井市あんしん見守りネットワークへの参加を通じて、地域の見守り活動を進めます

1月22日福井市役所において、福井市あんしん見守りネットワークの発足式が行われ、代表して竹生理理事長が出席しました。県都である福井市の高齢化率は現在26.5%ですが、今後大幅な増加が見込まれています。地域の中で特に孤立しがちな高齢者や子供の日頃の見守りと併せて、認知症高齢者が行方不明になった場合の捜索体制を整備することから、事業者・地域団体35団体のネットワークで協定が締結されました。福井県民生協としても宅配や移動店舗、店舗や福祉事業などでの見守り活動に取り



組んでまいります。今回の協定により、自治体との地域見守り協定は5市1町、6自治体との締結になりました。(これまでの締結自治体:越前市・鯖江市・勝山市・大野市・若狹町)



福井県労済生協

2014「こくみん共済カップ」U-12少年サッカー大会が開催されました

2014年11月24日・29日、まるおカスポーツランドにおいて、2014「こくみん共済カップ」U-12少年サッカー大会が開催されました。



24日には予選リーグとして32チーム・596人の参加をいただき、32試合の熱戦が繰り広げられました。予選リーグの上位8チームで行われた29日の決勝トーナメントは、高松サッカースポーツ少年団の優勝で幕を閉じました。

また、同日参加選手の保護者向けのイベントとして、「全労済presents OKライン メンタルトレーニング講習会」を開催しました。この講習会は、子どもメンタルトレーニングを通じてモチベーションアップし、問題解決するための実践的な理論を学ぶというもので、保護者の皆さんに大変好評でした。

『被災者生活再建支援制度』の拡充を求める国会請願署名

ご協力ありがとうございました

会員生協において署名活動に取り組んでいただき、ありがとうございました。福井県生協連全体で1,825筆の署名が集まり、署名集約事務局である宮城県生協連に送りました。全国では56万2千筆(2/12現在)の署名が集まったとのこと。東北各生協連では、紹介議員の依頼や議員会館で署名提出の院内集会を開催するなどし、今後国会請願手続きがとられます。